



生活環境の整備

道路整備

▽県道 新津白根線の白井バイパスと白根バイパス。白根亀田線の改良工事。このほか他の県道整備についても、県と協議し、早く完成するよう努力します。

▽市道 市民の皆さんの要望に応じながら、継続事業の優先と、緊急度の高い路線を重点的、効率的に制度を利用しながら整備を図ります。具体的な主なものとして、菱潟新田尾線の改良工事・茨會根免新田線の交通安全施設整備（公共事業）や、諏訪木鍋湯線の道路改良（緊急地方道路整備事業）などに取り組みます。

▽農道 継続事業として実施している大郷農免農道事業が早く完成するよう努力します。

▽街路 市街地を通る車両の混雑を緩和し、対岸を結ぶ重要路線として鱒潟古川線の整備を進めています。本年度は国庫債務負担を受け、用地の一括先行取得を図りながら、一部暫定盛土工

事を実施します。

農村総合整備モデル事業

五十年以上に着工以来、十二億九千九百万円を投じて道路、排水路、防火水槽などを整備し、全体計画の六六%まで進んでいます。六十一年度以降、六億六千九百万円の残事業がありますが、早い年次の事業完了を目指して努力します。このための経費として、本年度は一億一千八百五十九千円を計上しました。

河川整備

六十一年度に引き続き、次のとおり実施される予定です。これらの事業が早く完了するよう国や県に働きかけます。

▽全体 堤防底部対策が実施されます。

▽信濃川・中ノ口川合流点 上流部の中小河川改修などによる流量増加の対策としての改修を、国の直轄として促進願っています。

▽鷺ノ木水門 洪水時の信濃川から鷺ノ木大通川への逆流を防止するため、

排水対策

▽集落排水 市街地を除く集落排水については、農業用施設の利用が大半です。このため、水路管理者の白根郷土地改良区と協議のうえ、農村総合整備モデル事業などの制度を利用しながら整備していく計画です。また、今回、土地改良施設維持管理適正化の新規事業として、西幹線の下流排水路の整備を進めていきます。

▽都市下水路 四十五年以降計画的に実施してきた都市下水路整備も、本年度で東幹線（約百七十㌔）の計画を完了するとともに、西幹線の取り組みも再開し、六十二年で全計画の完成を図ります。幹線排水路の整備に伴い、その効果を発揮するため、支線の整備



都市下水路東幹線排水路工事

を継続的に実施します。

また、都市下水路の流末施設である鱒潟ポンプ場に、六十年度、千㌔のポンプ一台を増設し、機械施設の整備計画を完了して排水能力の大幅な向上を図りました。今後は維持管理体制を充実させ、排水対策に万全を期します。

これら都市下水路整備事業に一億五百万六千円を計上しました。

▽白根用水路の利用 市街地を走る白根用水路は現在、農業用施設ですが、用水を利用する範囲が一部に限られています。これら農用地の用水施設を整備したうえで、今後、白根用水路を排水路として利用すれば、市街地の排水



地盤沈下対策事業で行われた北田中下江排水路工事

国土調査

四十二年度から計画的に進めてきましたが、本年度は庄瀬地区の十六集落一・〇六平方キロ㌔を計画し、残る五・六平方キロ㌔についても、今後その整備に努めます。

地盤沈下対策事業

全体の七二・四%まで進み、残りの事業費は約百億円です。事業を促進するため、土地改良区と連携を密にして国や県に働きかけていきます。

地域開発

下塩俵ニュータウン建設計画に基づいて開発を進めてきましたが、現在、白根第二土地区画整理組合による区画整理事業を実施しています。この事業推進はもとより、民間土地開発業者の協力を得て、八十七㌔のうち残りの四十七㌔の土地利用についても早く実現できるように努力します。

住居表示

五十八年度から継続的に取り組んできました。初年度に大通団地約九㌔を実施。続いて六十年度で旧白根町部の四ツ興野、鱒潟、七軒、東町の約三十